



議会報告会(南地区)の様子

## 主な内容

- ・議会報告会 ..... 2~5
- ・平成28年12月定例会 ..... 6~9
- ・一般質問(10人) ..... 10~15

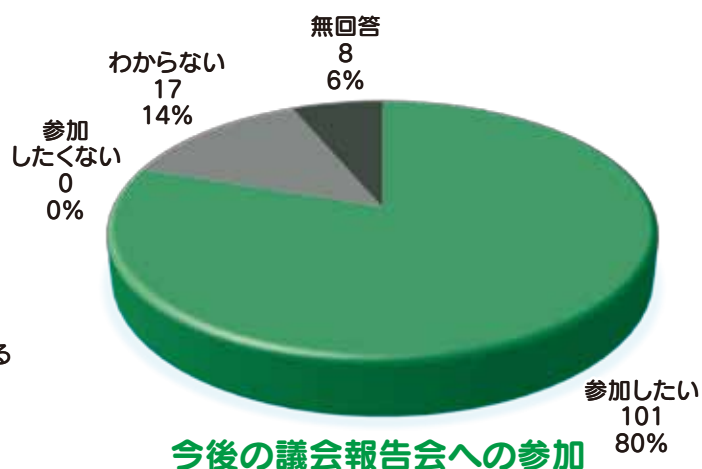
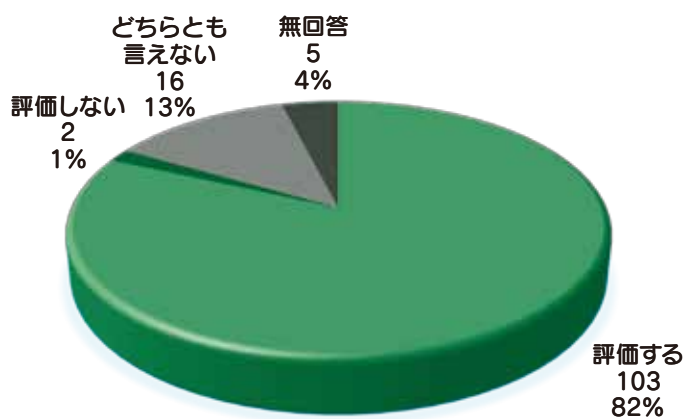
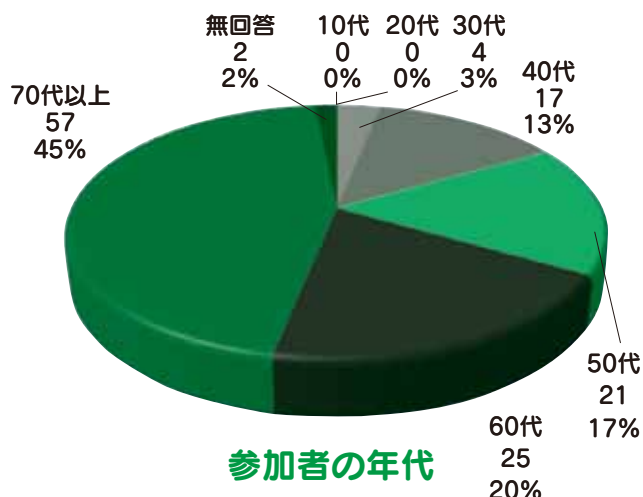
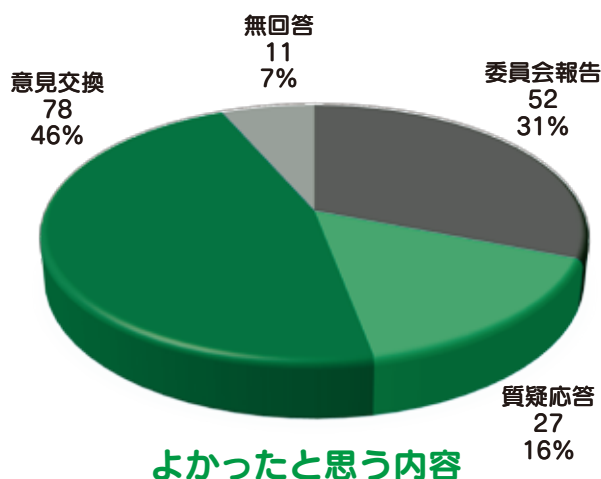
# 議会報告会を開催しました

## ～気軽に語ろう地域のこと!!～

11月に市内4つのコミュニティセンターと議場で開催し、多くの皆さまにご参加をいただき、ありがとうございました。

各会場で、議員による委員会報告に加え、議員と市民との意見交換を行いました。報告会でのアンケート結果や意見交換会における参加者の声の一部を紹介します。

### ～アンケート結果～



### 自由記載欄の意見

(良好意見)

- ・学校形式で聞くだけよりも、ワークショップ形式でいろんな意見交換ができて良かったです。
- ・市議の方々が働いている様子がわかりました。堅苦しい雰囲気なくて、近くに感じました。

(改善意見)

- ・若い年代の参加が少ない。もっとPRしたり、開催日時を昼に設定すると、より参加者が多くなるのではないのでしょうか。
- ・子どもを育てている人々が、もっとこの報告会に参加されたら良いなと思いました。
- ・報告したことをしっかり実現してほしい。市民のために働いてもらいたいです。
- ・他の地方の方向性や意見を、しっかりと見てきていただきたいです。
- ・活動報告の発表資料を、もう少し配布資料に加えてほしかったです。

自転車の放置が多く、また、点字ブロックを塞いでいる等、道路の不安全箇所が多くあります。

消防団にもっと助成をしなければ、団員の不足が今後続いていくと思われます。

高齢者の事故が多いですが、免許を返納する代わりに、タクシーチケットなどの補助が必要だと思ひます。

道路舗装ラインが消えていて、停止線など見えにくいところがあります。

## 意見交換会での 皆さまの声

コミュニティーバスのルートが変更になり、少なくなった便があります。



市民との意見交換会の様子

子ども食堂を充実してもらいたひです。

- ・まどかぴあ図書館は、絵本が充実してひ若いお母さんたちには好評で、また、借りやすいし、立ち寄りやすいです。
- ・本が少なくて古く、じっくり調べることができません。
- ・他の図書館に比べて狭く、CDなどを聞くスペースが少ないと思ひます。

区の活動をもっと勉強し、実態を把握して是正すべきところは是正していただきたいひです。

若いお母さんたちが気軽に行ける居場所が増えてほしいし、高齢者と子どもが一緒に過ごせる居場所づくりが必要だと思ひます。

# 委員会活動報告

## 総務企画委員会

### 【まどかぴあ図書館について】

#### 要望・指摘

- ・「まどかぴあ図書館ならではの」、「大野城らしさ」などのコンセプトや特色を出してほしい。
- ・スペースが狭い。学習コーナーなどもほしい。
- ・各コミュニティの図書を充実してほしい。
- ・各公民館の図書を充実してほしい。
- ・わくわく号の日時が決められていて借りにくいので、時間や曜日などローテーションで変えてほしい。
- ・1Fにカフェを併設して、珈琲などを飲みながらゆっくり本を読めるスペースを設けてほしい。
- ・音楽CDを置いてくれているのはうれしいが、民間企業への圧迫にならないかが心配。

#### 満足している点

- ・絵本が充実しているので、若いお母さん方に重宝されている。
- ・図書館にない本でも、希望すれば近隣市などから取り寄せてもらえるのが嬉しい。
- ・職員の対応が良い。特にタイトルがわからなくても、本のあらすじだけで司書の方が欲しい本を探し出してくれたことに驚いた。

#### これらを受けて

当委員会では上記のような様々な要望・指摘事項を受けて、これらの市民の皆さんの声を反映するために図書館運営を協議する場が設けられるように、今後働きかけを進めて参ります。



## 福祉文教委員会

### 【子どもの不登校について】

子どもに関する問題、特に不登校の問題について、「先生の数が足りない」「学校に行けない発達障がいの子が増えている」「教育委員会の対応が保護者にはあまり伝わっていない」などの意見がありました。

福祉文教委員会としても不登校は全国的に大きな問題であると認識しており、今後も検討課題として取り組んでいきます。

なお、不登校の問題等については、学校の他に市役所にある教育サポートセンターでも取り組んでおりますのでご利用ください。



教育サポートセンター(市役所5階)  
・電話番号:092-580-1877

### 【高齢者の居場所づくりについて】

高齢者の問題について、特に高齢者の居場所づくりについて、「長い間使っていない家やスペースに余裕のある家を利用した居場所づくりを」「番茶の会だけではなく、日常的にいろいろな企画や場を作ってほしい」「高齢者と子どもが触れ合える場所を」などの意見がありました。

これらの意見について、先進地の事例等も研究しながら大野城市に合った方法を検討していきます。

他にも、高齢者の移手段や子どもの貧困などについての多くの意見をいただき、ありがとうございました。

今後の調査研究に活用していきます。



# 都市環境委員会

## 【自転車の安全利用について】

「交通ルールやマナーをしっかり指導してほしい」「シニア・大人・高校生、年代を問わずマナーが悪い」「危ないので、自転車と歩行者の交通区分を明確にして」「自転車の罰則をとれるのか」「自転車保険の義務化を望む」などの意見をいただきました。

都市環境委員会としても、現在、自転車の安全利用について、先進地の事例などの調査研究を行っており、大野城市に活用できるものを提案して参ります。

## 【消防団の活性化について】

「地元には消防団員がいない。地域に偏りがある」「団員を増やすための広報活動が必要（成人式やイベントなどで）」「大学生に消防団入団を勧めては」などの意見をいただきました。

地域防災の要となる消防団員の確保が、全国的に課題となっています。大野城市消防団の歴史や伝統を踏まえ、活性化のための提案をして参ります。

## 【その他】

そのほかにも「側溝の蓋掛けの早期実現」「高齢者のための交通網整備」「災害伝達システムが聞こえにくい」などの意見もいただきました。委員会としてこれらの課題解決のために、さらに調査研究を進めて参ります。

## 議会報告会を終えて

報告会において市民の皆さまからいただいた意見をもとに、議員全員で内容を共有し、今後検討すべき課題は何かについて話し合いました。各会場でいただいた意見につきましては、今後の委員会を中心とする議会活動へとつなげてまいりたいと考えております。

- ・高校生との意見交換
- ・パワーポイントや説明資料の工夫・改善
- ・公民館などの人の集まる場所で出前講座を開催する
- ・参加者を増やすための開催時間（昼間、土日、イベント時の開催）と場所（公民館等）の検討
- ・参加者を増やすための広報の仕方（広報車、ケーブルステーションでの宣伝）
- ・市民の皆さんからいただいた意見や要望に対する取り組みの成果、進捗を次年度に報告する



議会報告会で出された意見を  
集約するための会議（ワールド  
ドカフェ方式）の様子

# 12月定例会

平成28年12月定例会を

12月1日(木)から12月19日(月)まで開催

24の案件を審議し、全て可決・承認。

10名の議員が一般質問。

## 審議結果一覧

平成28年第4回12月定例会

議案番号	件名	議決結果	付託委員会
第71号議案	大野城市税条例等の一部を改正する条例の制定について	全会一致可決	総務企画委員会
第72号議案	大野城市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	〃	福祉文教委員会
第73号議案	大野城市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
第74号議案	大野城市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
第75号議案	大野城市高齢者生きがい創造センター設置条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
第76号議案	指定管理者の指定について(コミュニティセンター)	〃	総務企画委員会
第77号議案	指定管理者の指定について(大野城市障がい者支援センター)	〃	福祉文教委員会
第78号議案	指定管理者の指定について(大野城いこいの森)	〃	都市環境委員会
第79号議案	平成28年度大野城市一般会計補正予算(第4号)について	〃	予算委員会
第80号議案	平成28年度大野城市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	〃	〃
第81号議案	平成28年度大野城市介護保険特別会計補正予算(第2号)について	〃	〃
第82号議案	平成28年度大野城市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	〃	〃
第83号議案	平成28年度大野城市水道事業会計補正予算(第2号)について	〃	〃
第84号議案	平成28年度大野城市下水道事業会計補正予算(第2号)について	〃	〃
第85号議案	大野城市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	総務企画委員会
第86号議案	大野城市特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
第87号議案	大野城市職員の給与に関する条例及び大野城市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
第88号議案	平成28年度大野城市一般会計補正予算(第5号)について	〃	予算委員会
第89号議案	平成28年度大野城市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について	〃	〃
第90号議案	平成28年度大野城市介護保険特別会計補正予算(第3号)について	〃	〃
第91号議案	平成28年度大野城市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について	〃	〃

第92号議案	平成28年度大野城市水道事業会計補正予算(第3号)について	全会一致可決	予算委員会
第93号議案	平成28年度大野城市下水道事業会計補正予算(第3号)について	〃	〃
	議員の派遣について	承認	—

## － 陳情関係 － (全議員に写しを配布)

陳情第7号	平成29年度理科教育設備整備費等補助金予算増額計上に関する陳情書
陳情第8号	宇宙船地球号を守る為の陳情書
陳情第9号	公益社団法人全国シルバー人材センター事業の推進についての陳情書

平成28年9月定例会で

# 市民に開かれた議会をつくる 調査特別委員会

の設置が議決されました。



平成27年4月1日に施行された大野城市議会基本条例は、議会が議会活動を市民の方々に公開し、情報の共有に努めることを義務づけています。

議会を傍聴に来られた方々が見やすく聞きやすい議場にする。そして、よりよい市民生活に寄与するために、みなさまのご意見を、しっかりと聞いたうえで、質の高い議論をする。それを早期に実現するために調査と工夫をするのが、この特別委員会です。

委員長

松崎 正和

副委員長

山上 高昭

委員

松下 真一  
森 和也  
平井信太郎  
福澤 信光  
中村 真一  
関井 利夫  
河村 康之  
大塚みどり  
松崎百合子

# 委員会報告

～主な審査内容～

## 総務企画委員会

### 第71号議案

「大野城市税条例等の一部を改正する条例の制定について」

Q 修正申告、更正決定にかかる市民税の延滞金の徴収について

A 通常の申告納付を納付期限内で納付されているのが前提。それが通常言われる法定納期限。減額更正が課税庁の判断であれば、本来の法定納期限から増額更正があるまでは延滞金の対象から全期間外れるというのが今回の主な改正内容となっている。ところが、本人の請求により、減額更正がされ、その後増額更正されたのであれば、減額更正がされて1年間は、延滞金の対象とする。その1年を超えた日から増額更正があったまでは延滞金の対象としないという改正。

### 第76号議案

「指定管理者の指定について（コミュニティセンター）」

Q 3年から5年に期間が延長された理由について。民間活力を導入するための指定管理者制度で運用することの問題点について

A 指定管理者の指定の選定に際しては、ガイドラインを定めている。指定管理者の更新等の審査は、公共サービス改革委員会を設置。その委員会で、これまでの実績や今後の計画を見て、総合的な診断を実施。指定管理期間を3年から5年に延長した理由は、公共サービス改革委員会からの答申で、延長により安定的なサービスの提供が期待できるとされたことから判断。昨年度、4コミュニティのNPOが、それぞれの地域の課題を踏まえた上で、5年間の中期的な経営計画を策定。NPO自らが策定をし経営の視点をしっかり持った形で運営を行っている。市としてもNPOの独自性が発揮できるよう必要な指導、支援等を行っていく。

## 福祉文教委員会

### 第72号議案

「大野城市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について」

Q 日本と台湾の日台民間租税取り決めにかかる国内法の整備によるということだが、国交がないので新たに規定を作ったのか

A 条約締結をしていないために、日本での居住者と、行ったり来たりしている人とのすみ分けが曖昧になっていたため、所得の範囲、日本国が徴収する所得の定義を明確にしたもの。

Q 大野城市に対象者は

A 来年の1月1日から適用になるので、実態は把握していないが、現時点では対象者はほとんどないと思われる。

### 第77号議案

「大野城市障がい者支援センターの指定管理者の指定について」

Q 応募者は、他になかったのか

A 9月1日から9月末日まで公募をし、現在の指定管理者である野の花学園1社の応募であった。

Q 期間を、3年から5年にしたのは何故か。利用者は、この3年間で増えているのか

A 公共サービス改革委員会で審査を行った結果は、『利用者施設職員との信頼関係を構築するには時間がかかる。指定管理者が短期間で変わる環境では、利用者に安定したサービスを提供することができないので、指定管理は5年間としたほうが良い』との診断結果を受けて5年間とした。『利用者に対しても行き届いたサービスが行われている』との評価もあった。平成26年度が延べで3,857人、平成27年度が5,178人、平成28年度は、途中ではあるが、平成27年度と同程度と見込んでいる。



## 都 市 環 境 委 員 会

### 第 78 号議案

「指定管理者の指定について（大野城いこいの森）」

Q 指定管理者が変わった経緯について

A 入札金額に加え、会社の規模や実績、利用促進案、市民利用の優遇策などを総合的に評価し、プロポーザル方式により選定した。

Q 現在働いていらっしゃる方の処遇は

A 新しい指定管理者も引き継ぎをスムーズにするため、現契約社員の継続雇用を検討している。

Q 使用料金の変更はあるか

A 使用料金は条例等で定めているので、変更等はないが、新指定管理者から市内の子どもの関係や高齢者団体などについては、割引をしたいという提案がある。

Q 特徴的な提案はあるか

A 主に4点ある。①災害の発生時に、公民館などの避難所への食事の提供。②15棟あるロッジへの冷暖房エアコン設置。(使用料は利用者負担)③電話予約時間の20時までの延長。④売店を設置し、軽食や歯ブラシなどの販売をする。

## 予 算 委 員 会

### 第 79 号議案

「平成 28 年度大野城市一般会計補正予算（第 4 号）について」

Q 公共サービス D O C K 事業の成果について

A フルコスト計算書の診断は、第 3 期の期間として平成 26 年度から平成 28 年度の 3 年間で個別診断が 63 件、グループ診断が 10 グループとなっている。個別診断の成果は、コストの縮・削減、事業のスクラップアンドビルドの促進、職員の業務改善や P D C A サイクルの必要性に関する意識の向上が挙げられる。グループ診断の成果は、同じ目的、同じ性質によって事業をグループ化し診断を行い、他の事業所管課の優れた点、問題点などを理解し、みずからの事業への活用ができることが挙げられる。

Q 学級運営サポートティーチャー及び介助員の増員について

A 4 月当初の学級運営サポートティーチャーに係る児童・生徒数は 26 名、4 月当初の小中学校の介助員に係る児童・生徒数は 196 名となっていたが、9 月末現在では、学級運営サポートティーチャーに係る対象児童・生徒数は 34 名、小中学校の介助員に係る対象児童・生徒数は 202 名に増加した。

Q 学級運営サポートティーチャー 1 名、介助員 2 名増の配置先は

A 学級運営サポートティーチャー 1 名は、下大利小学校に配置する。また、介助員の 2 名のうち、1 名は大利小学校に配置し、今後、追加申請があったところに 1 名の介助員を充てるように考えている。

Q 公民館等への雨水等を利活用するための貯水タンクを設置する場所と活用方法について

A 平野台、下大利、釜蓋、仲島の公民館 4 カ所に設置。活用方法は、雨水の貯水状況を見ながら、災害時の使用方法等を避難訓練の中で検証していく。



# 一般質問 ～ これからの大野城を問う ～

注：★がついている内容を掲載しています。なお、各議員の最後にあるQRコードから映像をみることができます。

井福 大昌	★サブカルチャーによるにぎわいづくりの創出	河村 康之	★障がい者に対する支援と教育について ●高齢者支援事業について
森 和也	★北コミュニティセンター天体観測運営事業について	大塚みどり	●障がいのある人にやさしいまちづくりについて ★震災を教訓としたわがまちの防災や情報収集と伝達について
関岡 俊実	★西鉄連続立体交差事業に伴う下大利駅周辺の現状と課題について ●危険踏切の改良とJR水城駅周辺の整備について	松崎百合子	★多様な性の尊重について ●中学校での労働者教育について ●日本国憲法施行 70 年への取り組みについて
松下 真一	●マイナンバー制度について ★公共施設のトイレの改善について	松田美由紀	●骨髄バンクドナー支援助成制度について ★放課後総合学習ランドセルクラブについて
平井信太郎	★公共施設での中高生の学習環境について ●一般質問後の検証について 家庭ごみの出し方(平成27年9月) 公共施設の利用状況(平成27年12月) 公共施設電力自由化(平成28年3月)	清水 純子	★女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)と、男女が働き続けるための環境整備について ●休日保育事業について

## サブカルチャーによる、 にぎわいづくりの創出

井福 大昌



**問** 集英社のヤングジャンプという雑誌に「キングダム」という漫画が連載中。この漫画は中国の秦の始皇帝の時代を描いた歴史ロマン物でコミックスが累計2,600万部も発売された、とてつもない漫画である。この作品が本市で生み出されているのをご存知か？また、基山町では本作品の作者を観光大使に任命しているが、本市でも何らかの連携は考えられないか

**答** 「ヤフーニュース」の特集記事を読んで知った。また全国放送の特集番組で、同氏の仕事場が本市にあることが紹介され、全国的にも周知の事実となった。連携企画案を作成し、集英社の担当者と面会、協議し、企画内容について理解はいただいたが事情により、実現には至っていない。

**問** 本市は他にも多くのサブカルチャーにゆかりがある。

それらの人気に頼るだけでなく、逆に本市が、作者や作品を応援し、スポットを当てることにより、素晴らしい人材が誕生し、

**答**

本市のにぎわいがさらに加速するものと思われる。子どもたちや若い世代と本市の接点が強固な未来をつくるために、サブカルチャー分野の人材をさらに応援するべきかと思うがいかがか。これからの本市を担う若い世代と、時代が求める多様な新しい価値観にマッチした発想が求められる。「旧来からの大野城らしさ」と、サブカルチャーなどの新しい価値からの「新しい大野城らしさ」とのバランスを図ることが「大野城ブランドの確立」にもつながると考える。



▲映像はこちら

## 北コミ天体観測施設の活用について

森 和 也



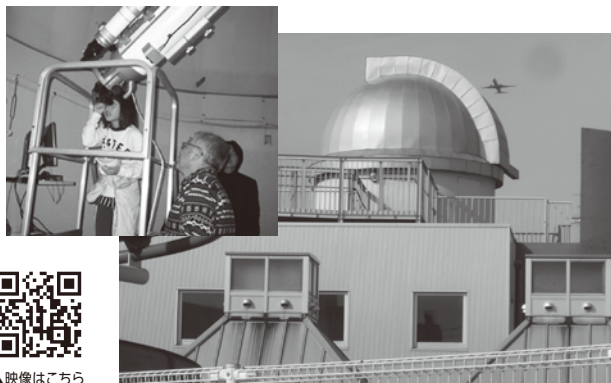
**問** 今年度、太陽の黒点を観測可能なフィルターを購入すると聞いているが、どのように活用していくのか。また、北コミュニティセンターにはウォータースライダー付きのプールがあり、夏休みにはたくさん子ども達が来館している。その期間に、あわせて太陽の黒点を見ることができるとイベントを実施してはいいか

**答** 通常、天体の観測は夜間しか行うことができないが、太陽望遠鏡、黒点観測フィルターなどを使えば、日中に太陽を観測することができ、教育的な観点からも活用が期待できる。小中学校には事前に情報提供を行い、連携した事業の実施など、活用方法を検討していく必要がある。また、提案があったプールのオープン時期に合わせてイベント等を実施することは、太陽望遠鏡の活用のみならず、本市の天体観測施設そのものを広く知っていただく機会にもなると思っている。検討していきたい。

**問**

現状はイベントを土曜日1回しか行っておらず、実質月に1日しか施設を活用していない。本市も毎週土曜日の実施、できれば毎週金・土曜日に実施するなどイベントの頻度を増やすべきだと思いが、考えはどうか

**答** 観測機器の改修が完了する平成29年度以降は、今以上に事業の充実を図っていく。具体的には、現在、月1回開催をしている市民星空観望会の回数を月2回に増やすことを計画している。



▲映像はこちら

## 連続立体交差事業の駅周辺の整備について

関 岡 俊 実



**問** バス路線の変更計画と東口バス停の設置について

**答** 下大利南ヶ丘線のバス路線の変更については、西鉄と協力して警察等と協議を行っている。下大利駅東口バス停の設置については、連立事業完了後に整備を行い、駅東口のコンコース付近にバス停の移設を予定している。

**問** 下大利駅西口広場の暫定整備について

**答** 西口の駅前広場については、ワークショップでも、有効利用について多くの意見が出ていることから、高架後の本整備に着手するまでの期間について、市民の皆様にも有効活用していただけるような暫定整備をする。

**問** 交番設置の見直しについて

**答** 交番設置については、現在、犯罪認知件数は減少傾向にあるが、西鉄高架化に伴い、治安の維持を図っていくことが課題と考えており、高架下活用も視野に入れて協議を行っている。

**問** 歩道上の自転車走行と安全対策について

**答** 大利アンダーパス内での自転車の走行については確認しており、注意喚起シートの貼り付けを行っている。下大利南ヶ丘線下大利地区の歩道については、現在、春日署等と協議し、自転車歩行者道ということ働きかけを行っている。



下大利駅西口広場



▲映像はこちら

## 公共施設のトイレの改善について

松下 真一



**問** 小中学校及び公共施設のトイレの整備状況について

**答** 小中学校校舎の児童・生徒用のトイレの洋式化率は61%。公共施設のトイレは、公園の公衆トイレ以外では、86%である。又、小中学校全15校のうち14校の校舎のトイレの床を、乾式化している。残りの大野中学校は、平成29年度に乾式化の整備を行う計画である。

**問** 学校のトイレの改善についての見解は

**答** 災害時の避難所機能を踏まえ、障がいがある方も誰でも利用できる多目的トイレの整備を進めている。体育館について未整備である4校も、平成30年度までに整備を完了させる。また、便器の洋式化も進めている。



▲映像はこちら

子どもたちの便秘に関する情報把握は、年度当初、保護者に記入していただく保健調査票や、保護者からの健康管理上の連絡などで把握している。また、腹痛で保健室を利用した場合、養護教諭が聞き取り、担任に連絡している。しかし、保護者に家

## 中高生に、良い環境の学習する場を提供しよう

平井 信太郎



**問** コミュニティセンターでの現状の学習できる環境はどのようになっているか

**答** 誰でも自由に利用できるフリースペースを設置している。

**問** フリースペースは、市民の皆さん、誰もが利用できる場所ですか

**答** コミュニティセンターは、生涯学習推進のための活動拠点として、広く一般の利用に供する目的で設置しているので、施設の利用状況等を踏まえて、適切に判断をしていく必要があると考えている。

**問** 自主的に勉強したい子どもたちのために土曜、休日の中学校の教室や図書館、視聴覚室などを子どもたちに提供できないか

**答** 中高校生の学習する姿勢は大切にしたと考えているので、全国の事例を調査し研究する。

**問** 愛知県瀬戸市では地域図書館づくり推進計画というのがあり、土曜、休日を中心に週2回程度学校図書館を開放している自治体がある。調査研究を願う。

**答** 中学生、高校生は、自分の目的に応じて利用する場所を使い分けているようにも思える。自分の目的に沿って活用できるような施設があることはとても大切だと考えている。



▲映像はこちら

## 小・中学校における バリアフリー教育について

河村 康之



**問** 本市の小・中学校での「福祉教育授業」はどのような事を行っているのか

**答** 小中学校全学年で1時間ずつ、学級活動や道徳の時間を使って、障がい者理解の学習を行っている。また、小学校中学年では、総合的な学習時間の中で、福祉教育授業を年間20時間程度行い、中学校では、障がいのある方への配慮等の学習を行っている。

**問** 社会的障壁を取り除く為、これからの心のバリアフリー教育をどのように考えているのか

**答** 人権教育として全教育課程を通じて、障がいがあるなしにかかわらず、ともに生きるための共生社会実現に向けて、お互いに違いを理解し、お互いを尊重できるような教育を心がけている。

**問** 障がいのある人についての授業はどんなことを行っているのか

**答** 車椅子体験やアイマスク体験等を通じて、障がい者に寄り添い、自分たちに何かできることはないかを話し合っている。道徳の時間や学級活動の時間では、障がい者の方や家族の思いを知り、社会福祉協議会と協働で授業を行う学校もある。さらに、太宰府特別支援学校の子どもたちが、自分の住んでいる地域の小中学校に行き、一緒に学校行事や教科学習をしたりする居住地区交流を行っている学校もある。



▲映像はこちら

## 防災及びWiFiメッシュ型 ネットワーク

大塚 みどり



**問** 防災会議では女性委員を3割にするために、今後増やすことについての市の考えは

**答** 今年度は委員30名のうち、2割に当たる6名が女性委員。防災に関する施策・方針において多様な視点を取り入れるため、引き続き検討していきたい。

**問** 情報配信サービスや防災メールまもるくんの登録者は増えているのか

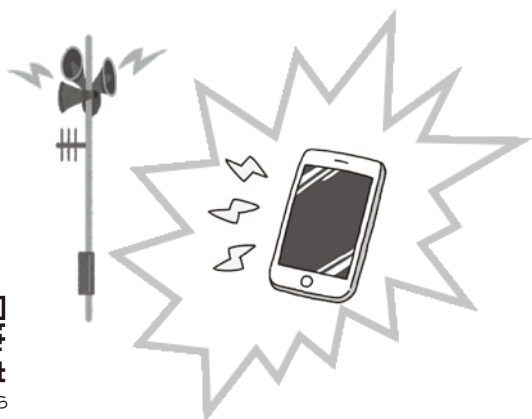
**答** 災害情報等配信サービス登録者数は増えており、現在1,000件を超えている。防災メールまもるくんの登録者は、微増で約8,500件である。

**問** 大野城市においても、公共施設を中心にWiFiアンテナ基地局を整備しているが、今後も整備・推進の拡大を検討しているのか

**答** 現在本市がWiFiを設置している公共施設は、7カ所。避難所となる公共施設を優先し、災害時に市民の情報収集手段として、拡大に向けた検討を行っている。

**問** 市役所からの一括プッシュ通知により、より速く正しい情報を提供できるWiFiメッシュ型ネットワークを採用することを提案したい

**答** メッシュ型ネットワークは、災害時に通信回線に障害が発生しても、ネットワーク内で迂回をして通信可能になる。平常時の活用も考えられ、有効性や活用事例、費用、実証実験の結果等を見ながら、関係各課と協議の上、調査・研究を進めていきたい。



▲映像はこちら

## 性的マイノリティ・多様な性を認め合うために

松崎 百合子



**問** 性的少数者からの人権侵害の報告や相談状況はいかがか

**答** 現時点では市の窓口、学校関係でもLGBTへの人権侵害報告や相談は寄せられていない。啓発活動を通じ、相談機関についての周知をしていきたい。

**問** 性的少数者にはどのような困難や社会的障壁が考えられるか

**答** 民間の専門機関の調査によると性的少数者は7.6%、13人に1人。内閣府の世論調査によると、差別的な言動、職場・学校等で嫌がらせやいじめを受けるなどの人権問題が報告。トイレや更衣室などの施設の利用、各種申請書等の性別欄の記入など、性の区分を前提とした社会的障壁もあると考えられる。

**問** 多様な性を認め合う地域づくりへの本市の取り組み状況は

**答** 人権教育・啓発基本指針では、性的少数者への偏見と差別意識の解消、各種支援の推進を明記。教育委員会では、校長会を通じて文科省からの研修資料を配付、

全教職員で共通の理解を指示している。生徒・児童に偏見や差別を生まない指導や、相談の充実に努めていく。

**問** 市営住宅の入居資格は

**答** 同性カップルに限らず親族以外と同居は許可できない規定。

**問** 同性カップルのパートナーシップ制度の実施はいかがか

**答** 現在、東京都渋谷区、世田谷区他国内らの自治体で同制度が実施されている。本市では今後の検討課題。検討会議等の設置は調査・研究を行っていきたい。



▲映像はこちら

## 子どもにとっての「居場所」とは

松田 美由紀



**問** 平成30年度までを試行期間とし、モデル校で取り組むとあるが、現在の各学校の登録児童数やボランティアの状況は

**答** 3校の登録児童数は、合計で485人。ボランティアは約140の個人、団体の登録がある。

**問** 放課後子ども総合プランには全ての児童に安全・安心な居場所の確保と記されているが、実際登録を希望した児童が入れない現状がある。各学校で入れなかった児童数は

**答** 大野北小15名、大野東小7名、月の浦小9名となっている。

**問** 登録後に登録を取り消した児童数は

**答** 3校合計で40名となっている。

**問** 放課後子ども教室（アンビシャス広場）との違いについて

**答** ランドセルクラブは児童の協同性や社会性を育むほか、自主学習の習慣化を目的としている。

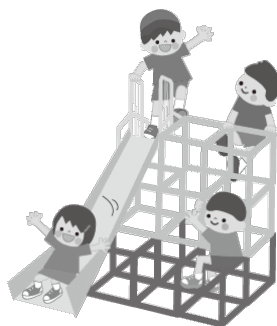
**問** 留守家庭児童保育所（学童保育）

との連携について

**答** 留守家庭児童保育所に通う児童は、ランドセルクラブの実施日は直接ランドセルクラブのある教室移動し、その教室で留守家庭児童保育所の指導員が出席を確認する。延長保育が必要な児童は、ランドセルクラブ終了後、留守家庭保育所の指導員が留守家庭保育所へと誘導し連携を図っている。

**問** ランドセルクラブの現状課題について

**答** 課題は学習支援・体験指導員の確保、学校との連携強化、学習や体験の効果の検証があげられる。



▲映像はこちら

# 発想の転換を！ 働き過ぎを見直そう

清水 純子



## 視察来庁

## ◆ 議会の動き ◆

**問** 女性の活躍推進には、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進が必要。そのためには、定時出勤や退庁、休暇が取得しやすい職場づくりが必要であり、その実態は

**答** ワーク・ライフ・バランスの推進の取り組みとして、毎週水曜日をノー残業デーとして、定時退庁を促す運動を行っている。

時間外が減らないことに対する分析として、恒常的なものは、人員が足りないということなどで、適正な人員配置を行っている。

それ以外は、所属課単位、個人単位の両面から分析を行っている。課全体として時間外勤務が多い場合は、所属長に対してヒアリングを行い、要因の分析を行い、個人単位で時間外勤務が多い場合についても、担当業務の仕事のやり方等を聞き取り、時間外勤務の縮減になるアドバイスを個々に行っている。

**問** 政府は、働き方改革を進めるとして、9月に働き方改革実現会議を開催。本市の働き方改革の

**答** 今後の取り組みについて、仕事と生活の調和の実現に向けた働き方改革を推進するために、組織が一体となった取り組みが必要不可欠と考え、仕事の取り組み方や組織の問題点、休暇制度のあり方などの視点から職員の仕事方を議論するプロジェクトチームを立ち上げ、時間外勤務の縮減など、誰もが働きやすい職場づくりに取り組み。



▲映像はこちら

☆ 大野城コミュニティ構想について

11月16日 栃木県小山市

☆ ワンストップ窓口「まどかフロア」について

11月17日 宮崎県日南市  
1月24日 兵庫県伊丹市

☆ 国民健康保険財政健全化アクションプランについて

1月23日 千葉県富里市

☆ おおのじょうわくわくパビリオン

1月17日 栃木県足利市  
1月25日 群馬県太田市

☆ 買い物代行について（南）コミュニティセンター

2月8日 大阪府熊取町

10月17日 広報委員会

シビックゾーン構想調査特別委員会  
市民に開かれた議会をつくる調査特別委員会  
福岡県市議会議長会

18日 全国市議会議長会研究  
フォーラム（静岡市）

19日 九州市議会議長会第3回理事会  
市民に開かれた議会をつくる調査特別委員会

20日 議会報告会（東）  
議会報告会（議場）

9日 議会報告会（南）  
福岡県中部十市議会議員研修  
（糸島市伊都文化会館）

12日 議会報告会（北）  
議会報告会（中央）  
議会運営委員会

14日 議会報告会（初日）  
会派代表者会議

15日 市民に開かれた議会をつくる調査特別委員会  
全員協議会

16日 広報委員会  
シビックゾーン構想調査特別委員会

22日 議会報告会（初日、質疑）  
総務企画委員会

24日 議会報告会（初日、質疑）  
福祉文教委員会

6日 議会報告会（初日、質疑）  
都市環境委員会

7日 議会報告会（初日、質疑）  
予算委員会

8日 議会報告会（初日、質疑）  
議会運営委員会

9日 議会報告会（初日、質疑）  
市民に開かれた議会をつくる調査特別委員会

14日 議会報告会（初日、質疑）  
議会運営委員会

15日 議会報告会（初日、質疑）  
議会運営委員会

18日 議会報告会（初日、質疑）  
シビックゾーン構想調査特別委員会

19日 議会報告会（初日、質疑）  
シビックゾーン構想調査特別委員会

1月6日 議会報告会（初日、質疑）  
広報委員会

# 大野城市議会 熊本被災地視察報告

9月27日(火)大野城市議会で熊本県益城町、南阿蘇村(立野地区)、阿蘇大橋崩落現場の被災地へ「震災時の議員・議会の対応」や「災害時の対応」などの視察に行ってきました。

益城町議会議長から、熊本地震の状況及び益城町の対応や、議会としての対応状況について伺いました。

視察時、益城町役場は、いまだに機能されていない状態であり、庁舎二階の渡り廊下に大きな亀裂が入っていたのが印象的でした。

地震発生後、役場機能はいくつかの公民館などに分散され職員は日々対応に追われる中、議員は居住地区で住民の意見や要望を受けることしかできない日々が続いたとの事でした。住民の安全な生活を守る為「防災訓練」は、より具体的内容のものが必要性であること、住民だけでなく「議会(議員)としての対応マニュアル」の必要性も痛感したとの事でした。いまだ倒壊家屋が手付かずの状態に残されており、熊本地震は「対岸の火事」ではなく、「本市でも起こる」との危機感を忘れてはいけない事を改めて感じました。



(阿蘇大橋の崩落現場)



(南阿蘇村立野地区)

阿蘇大橋崩落現場では、谷底に落ちている「橋」や「亀裂の入った道路」を見た時、こんなことが本当に起こるのかと我が目を疑い、改めて自然の驚異を思い知らされました。熊本の復興は現段階で、どれ位の年数がかかるか分かりませんが、私たちに来ることがあれば、今後もチーム議会「大野城」として取り組んでいきます。

あんな

昨年、アメリカで大統領選挙が行われ、アメリカ国民は大きな変革の道を選択しました。アメリカが変わるといっても過言ではないでしょう。周辺諸国の動向を見ながら、安全保障を考えていかなければならない今、本当にアメリカが世界の警察官から身を引くとすれば、極東アジアにおいて日本の立場は重要な責任を負っていくことになるでしょう。

また、経済においても、まずは国内を安定させ、世界経済のリーダーシップをとれるようになるべきだと思います。

日本はこれから難しい舵取りをこなしながら、アジアのみならず、世界の平和と安定のため、大きな役割を果たしていくことを切に願うばかりです。

(D.I)

## 平成29年 第1回3月定例会(予定)

- |          |        |        |            |
|----------|--------|--------|------------|
| 2月23日(木) | 10:00~ | 本会議    | 提案理由説明     |
| 3月3日(金)  | 9:30~  | 本会議    | 代表質問・質疑・付託 |
|          |        | 各常任委員会 | 13日迄       |
| 14日(火)   | 9:30~  | 本会議    | 一般質問       |
| 15日(水)   | 9:30~  | 本会議    | 一般質問       |
| 21日(火)   | 10:00~ | 本会議    | 報告・討論・採決   |

本会議・各委員会は傍聴できます。  
みなさまの傍聴をお待ちしています。